

第4章

「循環」

持続可能な循環型社会の構築

東松島市第2次環境基本計画

「基本目標 4」 持続可能な循環型の地域社会を創ります

廃棄物発生予測と現状

(1) ごみ発生量・家庭系事業系別排出量

①ごみ発生量

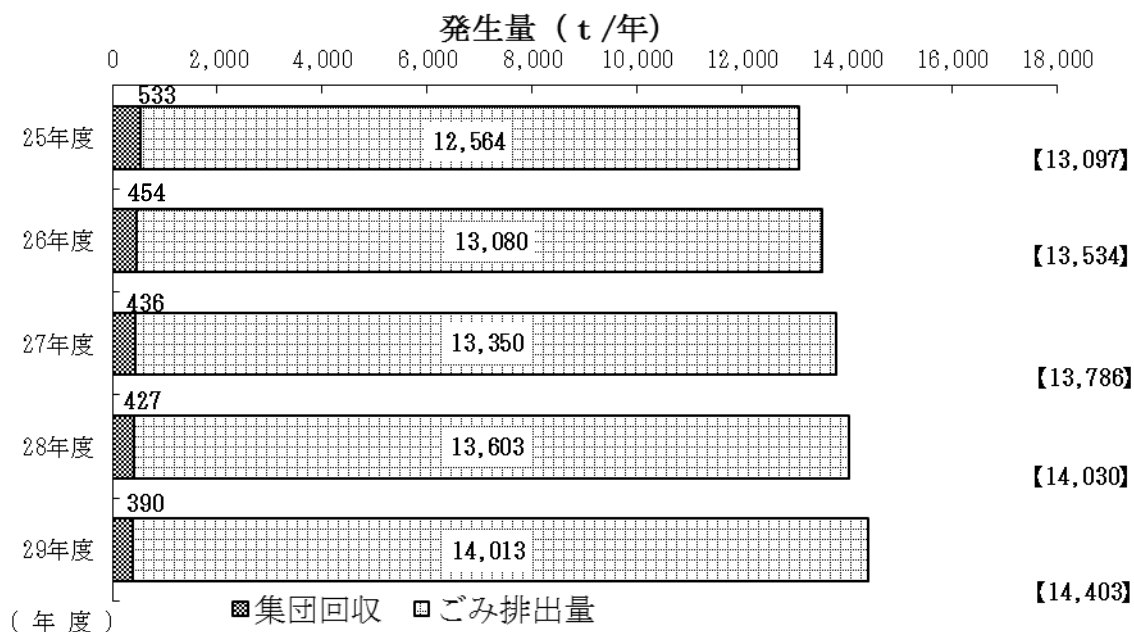
ごみ排出量と集団回収の合計値とした過去5年間（平成25年度～29年度）のごみ発生量は下表のとおりです。

ごみ排出量は、12,000 t～14,000 t 台で推移し、29年度は14,013 tで前年度より410 t増加しています。これは、震災復興事業に関連した事業所からの排出量増加、防災集団移転団地の完成に伴う引越しによる可燃ごみ排出量増加が原因と考えられます。

なお、集団回収については、390 tで前年度より37 t減少しています。

(単位：t)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ごみ排出量①	12,564	13,080	13,350	13,603	14,013
集団回収②	533	454	436	427	390
ごみ発生量①+②	13,097	13,534	13,786	14,030	14,403

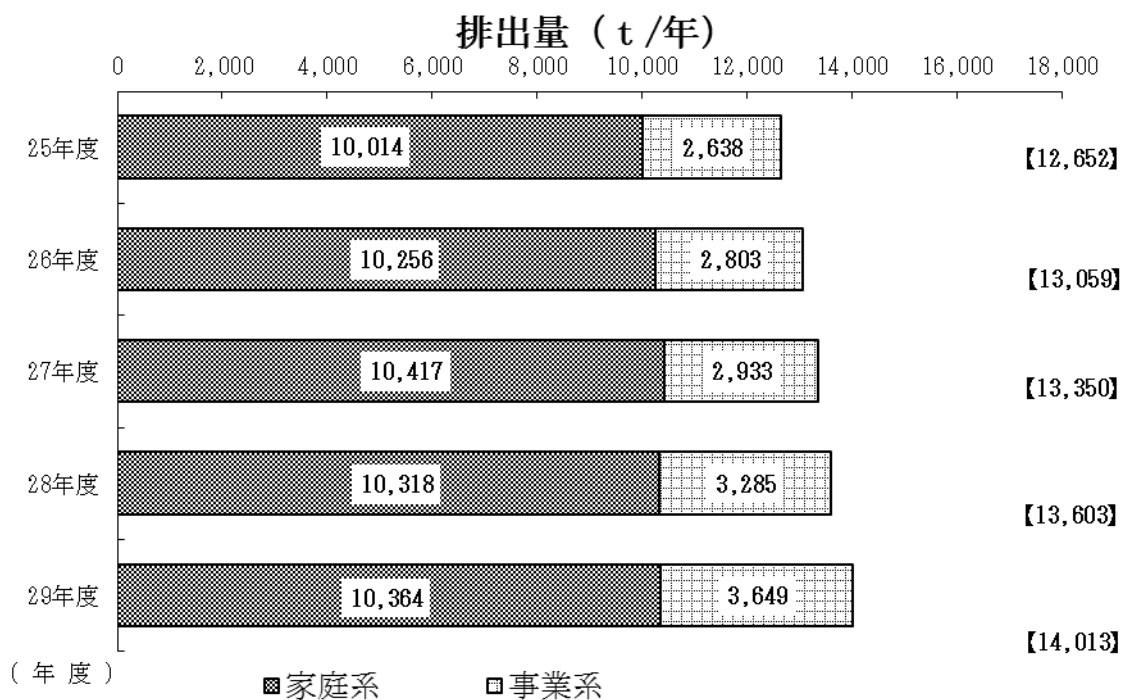


②家庭系・事業系排出量

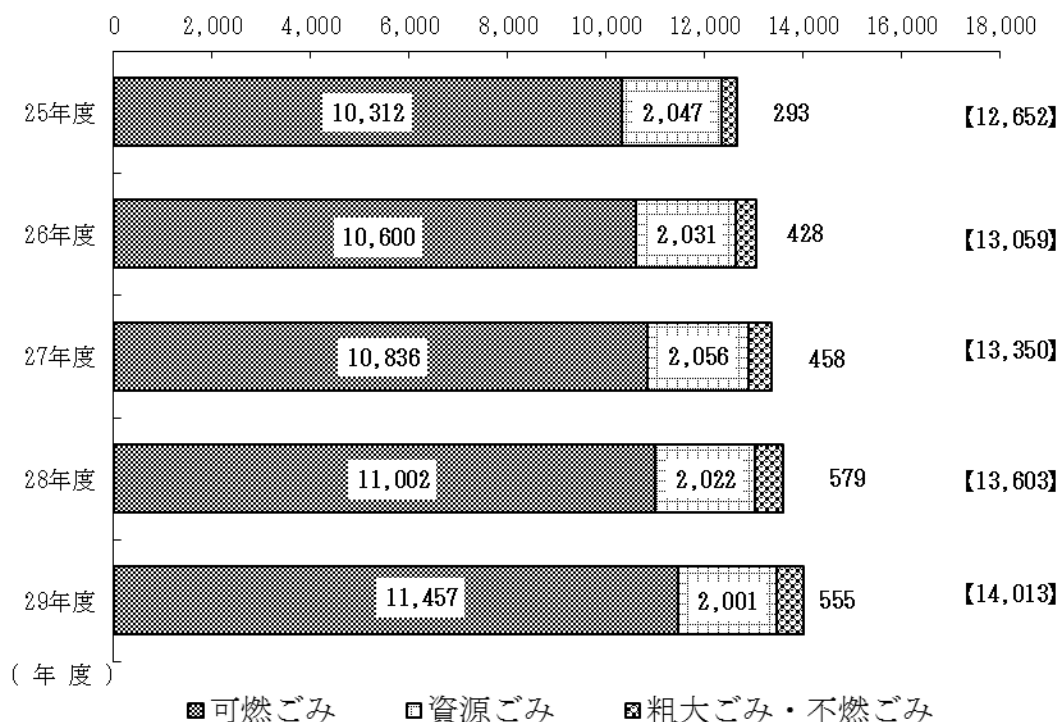
家庭系ごみ、事業系ごみに分けた発生系別ごみ排出量の内訳は、下表のとおりで、家庭系ごみの占める割合が約74%です。

(単位：t)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
家庭系ごみ（委託収集・住民持込）	10,014	10,256	10,417	10,318	10,364
可燃ごみ（石巻広域分）①	7,864	7,985	8,031	7,963	7,971
資源ごみ（リサイクルセンター分）②	1,859	1,856	1,878	1,844	1,816
資源ごみ（容器包装プラスチック）③	148	135	139	141	147
資源ごみ（廃食用油）④	3	3	3	3	3
粗大ごみ・不燃ごみ⑤	140	277	366	367	427
事業系ごみ（許可・直搬搬入）	2,638	2,803	2,933	3,285	3,649
可燃ごみ（石巻広域分）⑥	2,448	2,615	2,805	3,039	3,486
資源ごみ（リサイクルセンター分）⑦	37	37	36	34	35
粗大ごみ・不燃ごみ⑧	153	151	92	212	128
計	12,652	13,059	13,350	13,603	14,013
可燃ごみ（石巻広域分）①+⑥	10,312	10,600	10,836	11,002	11,457
資源ごみ ②+③+④+⑦	2,047	2,031	2,056	2,022	2,001
粗大ごみ・不燃ごみ ⑤+⑧	293	428	458	579	555



ごみ質別排出量 (t/年)



平成 29 年度のごみ質別排出量の割合は、可燃ごみ 82%・資源ごみ 14%・粗大、不燃ごみ 4% の割合でした。

③廃品回収奨励金交付事業

子供会や町内会などが実施する集団回収について、その活動を支援するため「廃品回収奨励金」として回収量に応じた奨励金を交付しています。(紙類・びん類・金属類の各品目 1kg 当たり 3 円) 平成 29 年度実績では、33 団体・申請件数 203 件に対し 390 t 分の奨励金が交付されました。

過去 5 年間での実施団体は平成 25 年度で 42 団体をピークに減少傾向にあります。回収量も同様に減少していますが、今後、市広報やごみ分別説明会などで啓発を行い事業のさらなる拡充を行っていきます。

年度	回収量計 (t)	紙類 (t)	びん類 (t)	金属類 (t)	その他 (t)	実施団体	申請件数	奨励金 (千円)
25	533	496	7	28	2	42	253	1,586
26	454	423	6	21	4	38	226	1,351
27	436	403	6	22	5	38	219	1,299
28	427	395	5	20	7	38	218	1,272
29	390	354	5	25	6	33	203	1,159

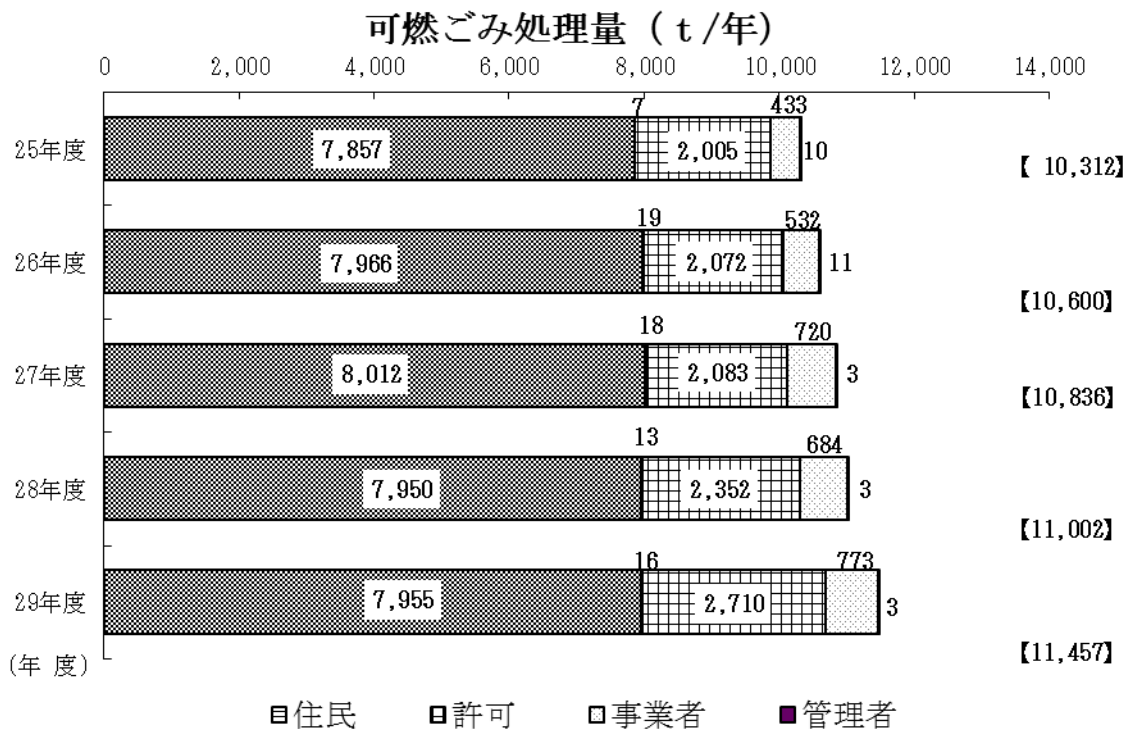
(2) ごみ処理状況

① 可燃ごみ処理量（石巻広域クリーンセンター分）

平成29年度の可燃ごみ処理は、全量を石巻広域クリーンセンターで焼却処理しています。家庭系可燃ごみについては、7,971 tと前年度より8tの増加でほぼ横ばいでしたが、事業系可燃物ごみについては447t増加しており、特に許可業者の搬入量が2,710 tで前年度より358 t増加しています。

(単位：t)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
家庭系	委託収集 ①	7,857	7,966	8,012	7,950	7,955
	住民持込 ②	7	19	18	13	16
	家庭系合計	7,864	7,985	8,030	7,963	7,971
事業系	許可業者 ③	2,005	2,072	2,083	2,352	2,710
	事業者 ④	433	532	720	684	773
	管理者 ⑤	10	11	3	3	3
	事業系合計	2,448	2,615	2,806	3,039	3,486
可燃ごみ処理量 ⑥ (Σ①～⑤)		10,312	10,600	10,836	11,002	11,457
月平均処理量 (⑥/処理月数)		859	883	903	917	955



② 資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理量

資源ごみは矢本リサイクルセンターで中間処理を行い、粗大ごみ・不燃ごみは鳴瀬一般廃棄物最終処分場で分別し最終処分（埋立）を行います。

資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理数量は次のとおりです。

(単位：t)

区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
資源ごみ等排出	家庭系	委託収集	①	2,021	1,963	2,011	1,959	1,953
		住民持込	②	133	294	375	378	440
	事業系（管理者ほか）		③	186	188	128	245	163
	資源ごみ等排出量 計		①+②+③	2,340	2,445	2,514	2,582	2,556
中間処理の状況	資源化量	紙 類	④	1,025	1,036	1,026	1,008	989
		金属類	⑤	254	233	254	300	298
		ビン類	⑥	356	371	377	319	362
		ペットボトル	⑦	119	111	115	116	116
		容器包装プラスチック	⑧	142	135	139	141	145
		硬質プラスチック	⑨	8	14	21	24	73
		布 類	⑩	66	78	91	83	86
		木くず	⑪	59	90	79	60	73
		ガラス・陶磁器類	⑫	61	62	70	66	68
		廃食用油	⑬	3	3	3	3	2
		その他 (有害ごみ、廃タイヤ)	⑭	24	21	31	16	16
		資源化量 計	(Σ④~⑭)	2,117	2,154	2,206	2,136	2,228
		※資源化率（資源化量/搬入量×100）			90.5	88.1	87.7	82.7
分別残渣(石巻広域収集ごみ直営分)			88	141	255	347	348	

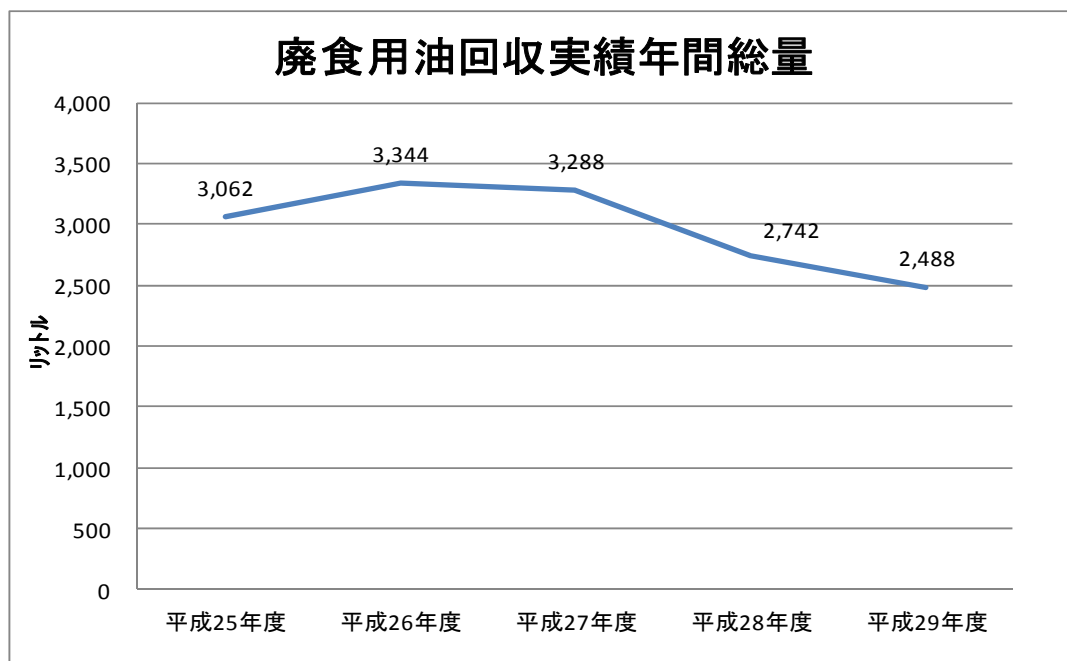
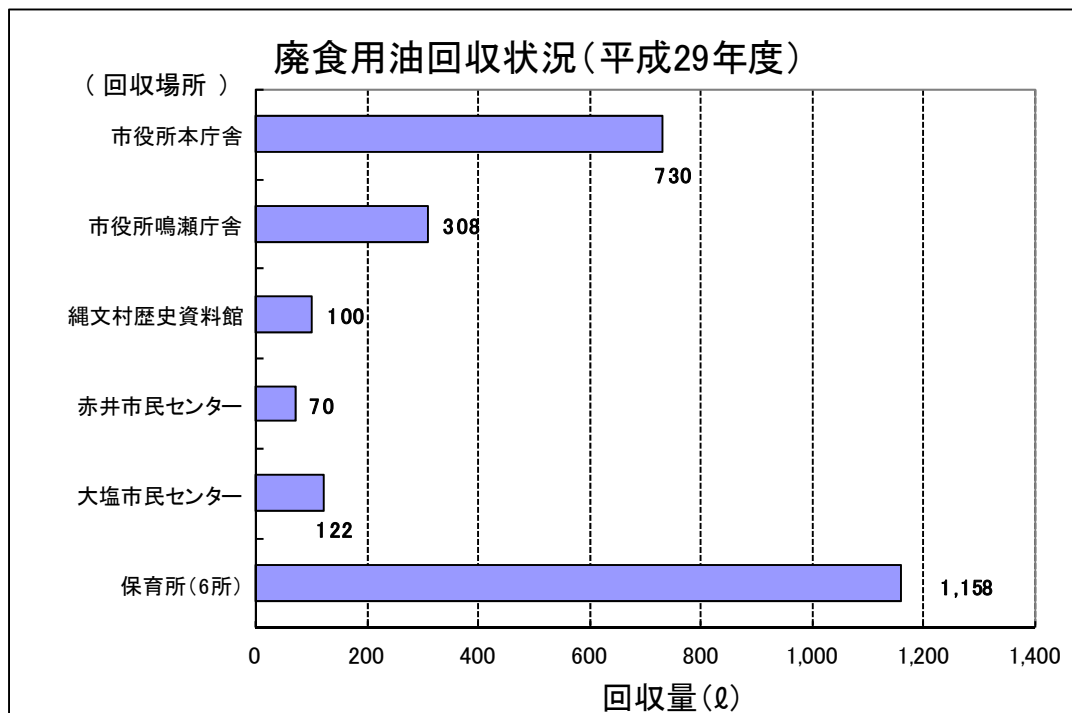
※回収した資源ごみの80%以上を資源化することによって、埋立処理量を削減し、最終処分場の延命化へとつながっています。

③廃食用油回収

平成19年5月から資源循環型社会の構築と廃棄物減量を目的に、家庭から排出される廃食用油の回収を行っています。

この事業で回収された廃食用油は、再利用して廃棄物再資源化及び減量等に貢献しています。
平成29年度回収量は前年度より2540少なくなっています。

平成29年度回収量：2,488ℓ（前年度比較 -2540）



④容器包装プラスチック類の分別収集

平成 20 年 5 月から、可燃ごみの減量と容器包装プラスチック類（容器包装プラ）の資源化を図るため、分別収集を実施しています。

収集した容器包装プラスチック類は、民間処理業者により資源化を行っています。

なお、資源化に適さない不適合物は、返却され可燃ごみとして処理しています。

(単位：t)

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
回収量	148	142	147	147	147
返却量（可燃ごみ）	6	7	8	6	2
処理量（資源化）	142	135	139	141	145

⑤リサイクル率の推移

リサイクル率は、平成 29 年度実績 21.1%となっています。

今後は、ごみの排出抑制と資源ごみ等の分別徹底の啓発等により、リサイクル率の向上を目指します。

リサイクル率の推移は次のとおりです。

(単位：t)

		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
ごみ処理量+集団回収 a		13,097	13,534	13,786	14,030	14,403
資 源 化	資源化量（矢本リサイクルセンターほか）①	2,117	2,154	2,206	2,136	2,228
	資源化量（石巻広域分）②	436	363	368	427	427
	集団回収 ③	533	454	436	427	390
	資源化量+集団回収 b (①+②+③)	3,086	2,971	3,010	2,990	3,045
リサイクル率 (b/a × 100) %		23.5	22.0	21.8	21.3	21.1

※資源化量（石巻広域分）については、可燃ごみを広域クリーンセンターで焼却した後に、焼却残渣物の中に含まれるアルミや鉄類等です。

⑥最終処分率の推移

本市の最終処分率は、平成 29 年度実績で 8.8%です。

最終処分率の推移は次のとおりで、平成 26 年度及び平成 28 年度において最終処分量が少ない原因は、石巻広域クリーンセンターからの焼却残渣の搬入がなかったためです。

最終処分率 5 カ年を平均すると 5.9%と最終処分率目標値（平成 38 年度：5%）を多少上回る結果となっております。

今後も現在ある最終処分場の延命化を図るため、今後ともごみ減量の啓発と中間処理の充実を図り、最終処分率の減少を目指します。

(単位：t)

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
ごみ排出量 a	12,564	13,080	13,350	13,603	14,403
最終処分量 b	1,146	219	1,190	165	1,232
最終処分率 (b/a × 100) %	9.1	1.7	8.9	1.2	8.8

⑦市民一人1日当たりごみ排出量

市民一人1日当たりごみ排出量は、東松島市一般廃棄物処理基本計画（平成29年3月策定）において平成38年度目標を845gと設定しています。

平成29年度では980gとなり、平成28年度と比較して26gの増となりました。

（単位：kg）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
人口（10月1日現在） a	40,330人	40,169人	40,199人	40,279人	40,258人
可燃ごみ総排出量 （クリーンセンター搬入量） b	10,311,670	10,740,730	11,090,870	11,343,100	11,805,650
資源 リサイクルセンター 搬入量 c	1,895,800	1,912,500	1,914,250	1,877,880	1,851,750
資源 容器包装プラ資源量 d	142,150	135,330	139,160	141,500	144,910
資源 廃食用油 e	3,062	3,344	3,288	2,742	2,488
粗大・不燃ごみ総量 （鳴瀬処分場搬入量－可燃物 分別残渣） f	211,400	287,670	202,750	237,680	206,490
集団回収量 g	532,866	454,086	436,429	427,162	389,517
総排出量（b～g） h	13,096,948	13,533,660	13,786,747	14,030,064	14,400,805
一人1日排出量 （g×1,000/a/365日）	890g	923g	940g	954g	953g
市一般廃棄物処理計画に定め る一人1日排出量目標値	841g	829g	806g	976g	963g

